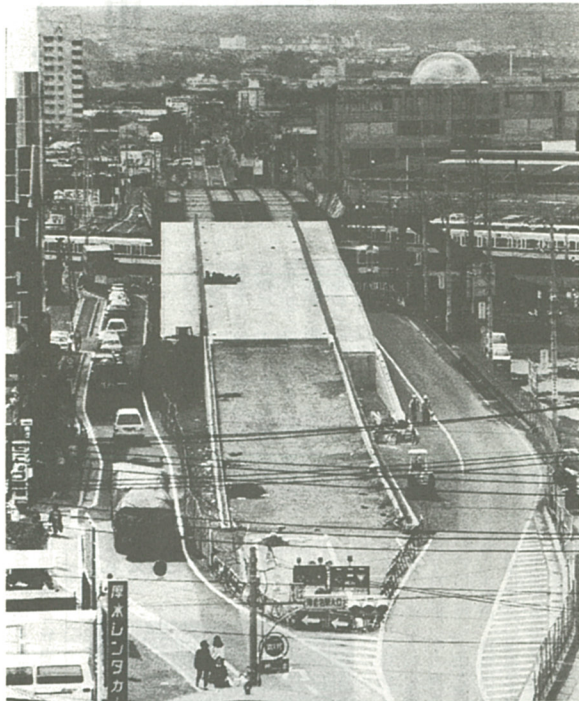


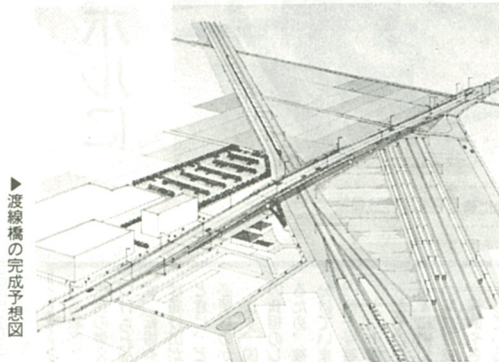
世帯と人口
 (平成2年4月1日)
 世帯 33,662 (+63)
 人口 104,001人 (-6)
 男 53,362人 女 50,639人

広報えびな

編集・発行
 海老名市役所広報広聴課
 〒243-04
 神奈川県海老名市勝瀬175
 ☎(0462) 31・2111



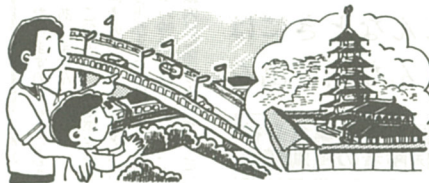
▲立体交差化工事も来春には完成



▶渡線橋の完成予想図

海老名第2号踏切に渡線橋に

相模国分寺の面影を再現



歴史と道路が「立体」交差

文化の1%システム導入

海老名駅南側で、主要地方道横浜厚木線と小田急線が交差している海老名第2号踏切の立体交差化工事が、来年一月完成を目途に行われています。県では、この工事に「文化のための1%システム」を導入し、相模国分寺の伽藍(がらん)の一部をデザイン化して、建設中の渡線橋の装飾に取り入れることを決めました。

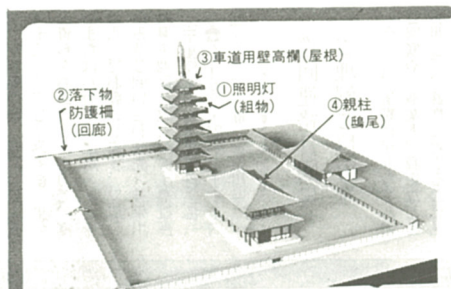
「文化のための1%システム」とは、県が公共施設を建設する際に、地域特有の歴史的、風土的個性を建造物に反映させて、その地域のシンボルとなるような施設を作るため、建設費の手算に1%分を上乗せする制度です。

同システムの導入で、渡線橋には次のような装飾が取り入れられます。

- 親柱(欄かんの端にある太い柱)には、相模国分寺仏殿屋根に取り付けられていたトビの尾の形をした「鰭尾(しび)」



▶着工前の海老名第2号踏切



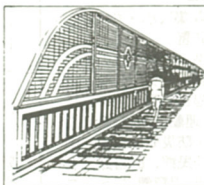
渡線橋に国分寺伽藍装飾

(下の図はイメージ画)

◎相模国分寺 天平十三年(七四一年)の詔勅に基づき造営されたが、後の天災・人災により消失。現存する金堂、講堂の礎石などから、法隆寺式伽藍配置の大規模な建物であることが判明している。



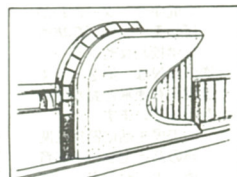
①照明灯



②落下物防護欄



③車道用壁高欄



④親柱

- 落下物防護欄には、回廊のイメージを生かして装飾します。
- 車道用壁高欄には、壁面に七重の塔などの屋根のイメージをデザインを施します。
- 照明灯は、七重の塔などの軒下にある組物(軒を支える部分)のイメージを生かします。

そのほか、歩道や橋脚にも同様のイメージデザインが施されることで、奈良中期に造営された現在の礎石だけが残されている相模国分寺の面影が、来春には市の交通網の一部として生まれ変わります。

踏切待ちの交通渋滞解消
 海老名第2号踏切と交差している主要地方道横浜厚木線は、県央部と横浜方面を結ぶ幹線で、昼間の十時間に約八千台の自動車通過しています。一方、同踏切は一日に千五百二十本の電車が通過し、遮断時間が約八時間と長く、交通渋滞が日増しに悪化しています。

同踏切の立体交差化は、こうした渋滞の解消と踏切事故の防止を目的に、県が総工費約五十億円をかけて昭和六十三年九月から建設を進めています。



工事延長は七百五十七メートル、うち立体交差部分は四百三十七メートル、線路上約七割を最長点に小田急線とまたいでいます。車道幅員は七・五メートルで、両側に職員二・五メートルの歩道が設けられます。現在は道路南側に仮設道路を設け、高架部分の取り付け工事が行われています。



横断歩道の渡り方を学ぶ(社家小学校で)

交通ルールを学ぶ

団体を対象に交通安全教室

市では、市内の幼稚園や小学校、事業所など各種の団体を対象とした交通安全教室を実施しています。この教室は、交通安全の指導と啓発活動を進めるために、市交通安全協会の協力を得て行っているもので、内容は、歩道、横断歩道の渡り方の指導などです。

四月十六日は、社家小学校(加藤砂子校長、児童数個人)で、一年生から三年生を対象とした交通安全教室が開かれました。当日は、交通指導員八人が入学したばかりの一年生と、二年生に道路標

迷惑です!

路上駐車への対応に苦慮



柏ヶ谷自治会長 大貫 春雄さん

市内のこの地区でも同じだと思いますが、路上駐車が増えてきて、迷惑しています。自治会の集まりで、話題にすることも度々あります。

柏ヶ谷地区では、かしわ台駅周辺の路上に通勤の人が駐車したり、夜間、マンションやアパート前の路上に車の列ができる場所も目

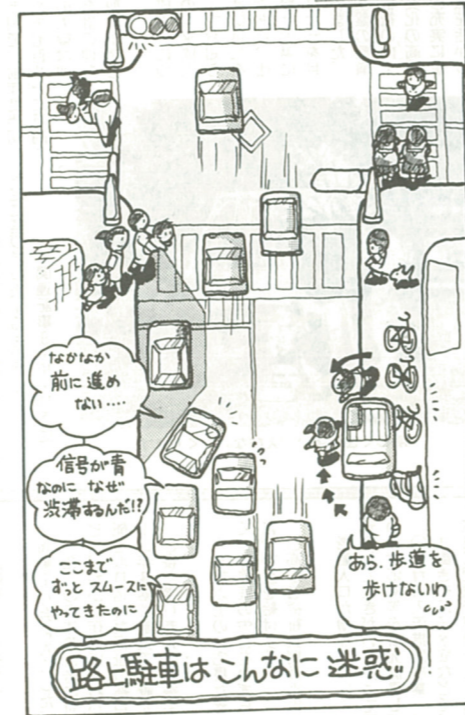


立ちます。道路が整備されても駐車場の代わりにはなっていません。交通事故の原因や救急車両の通行の障害になるのではと心配です。

自治会では、五年ほど前から看板を立てたり、警察と連携して路上駐車をなくす運動を進めています。増え続ける路上駐車に苦慮している現状です。



増え続ける路上駐車(さつき町で)



歩行者の安全確保のために、自転車駐車の整理に努めてください。

発生件数など倍増

去年の交通事故発生状況



去年、市内では1日に約10件の交通事故が発生

この数字は、去年市内で発生した交通事故の件数です。これらの事故で、七百七十二人が重軽傷を負い、八人が死亡しました。昭和六十六年中の発生件数は三三六十一件、重軽傷者四百五十一人、死者四人に比べて、ほぼ倍増したことになります。また、物件事故を含む去年の市内の交通事故発生件数は、三三三二件にのぼり、一日当たり約十件もの交通事故が起きました。

去年の交通事故の特徴として、二輪車事故が増加し全体の約三〇%を占めたことや、二十四歳以下の若年ドライバーの無謀運転と飲酒運転による事故が増えたことなどがあげられます。地域別の事故件数、物件事

路上駐車



路上駐車は社会の迷惑です(海老名駅東口で)



放置自転車も困りもの

路上駐車が大きな迷惑なのは、自動車だけではなく、歩道上に駐車してある自転車も歩行者にとって困った存在です。

市では、市内各駅周辺の放置自転車の撤去に努めています。昭和五十八年に市内で初めて「海老名市自転車放置条例」が制定され、自転車放置禁止区域を指定するようになりました。

また、条例施行から七年たち、放置自転車は減りましたが、去年一年間に市が移動した放置自転車は約三千八百台もあり、一部の地区では依然として多くの自転車が放置されています。



放置自転車が歩道を占領(さがみ野駅北口で)

警察庁交通局が先ごろまとめた道路交通法と自動車保管場所法の改正試案が、社会的に大きな反響を呼ぶなど、路上駐車の問題がクローズアップされています。路上駐車は交通渋滞を引き起こし交通事故の原因となるほか、緊急車両の走行の妨げになります。座間警察署では5月を「路上駐車追放強化月間」と定めています。今回は、路上駐車の問題を中心に特集を組みました。

交通事故の原因に

自動車のドライバーが駐車するときは「運転の一部」です。駐車場の仕方を見れば、そのドライバーの安全に対する考え方がわかるかもしれません。

「ちょっとした間違ったから」という軽い気持ちで駐車する人が、その付近の交通環境を悪くします。路上駐車が、道路の現実的な幅を狭くし、他の人や車の通行の妨げとなる。駐車場のために車の流れにゆがみが生じたり、駐車車両からの出入りがあったりすると、危険が生じやすくなります。多くの場合、路上駐車は、歩行者の迷惑や危険をもたらすので

緊急車両の妨げに

路上駐車が、交通事故の原因となるだけでなく、消防車や救急車などの緊急車両の通行の妨げにもなります。

市消防本部では、「消火・救急活動は一刻を争うものなので、路上駐車の車は消防活動の障害となります。住宅地の狭い道路に車が止まると、現場に進入しにくい状況になります。幹線道路でも路上駐車が多くなると、走行中の車が左側に寄りかか

路上駐車追放強化月間にご協力を...

座間警察署では、5月を「路上駐車追放強化月間」と定め、1日から31日までの間、市や交通安全協会などの協力を得て、路上駐車に対する追放気運の高揚運動と指導取り締まりを重点的に実施します。

現在、全国的に路上駐車の問題がクローズアップされています。ちょっとした駐車が、みんなの迷惑や交通事故の原因になります。路上駐車をしないよう、させないよう、ご協力をお願いします。(座間警察署)

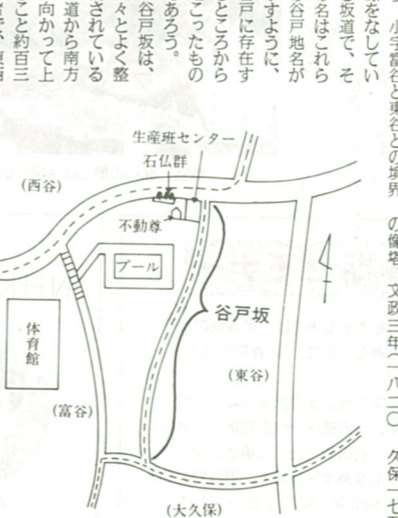
なくそう! 違法駐車 — 駐車は正しく —

海老名の坂



生保センターとこれら石仏群の間のやや奥まった所に、建坪約二平方メートルの新しい家が東向きに建てられている。その中には、高さ二十八センチの石造の不動尊が高さ五十センチの角柱の台の上に厳然と座つておられる。その台石の正面に奉立した、右側に文化四年(一八〇七年)卯九月日、左側には「穀治ヶ入講中」と刻んである。

「よびかき」である。谷戸坂を花嫁さんが通ると、このお不動さんがやまをゆかれ、良いとがけないと伝えられており、昔から花嫁は絶対に通らないという。こうしたことから別名「嫁家坂」ともいわれている。



谷戸坂は、谷戸地名が示すように、谷戸に存在するところから起こったものである。谷戸坂は、広々と整備されている本道から南方向に向かうこと約百三十メートル、東西に走る道に突き当たりT字路となって終わる。下のほうこそ幅約三・七メートルのアスファルト舗装が施されているが、たちまち一・八メートルの未舗装となり、側溝もなから道中央に雨水がたまり、流れた痕跡があり、交通量もゼロに近いような陰気な坂である。

これに引き寄せ、上り口の右手に明るい瀟灑な杉久保三三三生保センターがある。この並びの一角はまことに

今年国勢調査の年

調査員を募集します

今年が国勢調査の年です。市では、10月1日に実施されるこの調査の調査員を次の要領で募集します。国勢調査は国内に住むすべての人を対象に、5年に1度、全国一斉に実施されるものです。

調査期間 9月中旬~10月中旬▷仕事の内容 調査区内(約50世帯)の各世帯を訪問し、調査票を配布して記入を依頼。名簿と地図の作成。調査票を回収し、検査整理した調査票を市へ提出▷募集人員 686人▷報酬 1調査区当たり50世帯の場合38,000円程度▷申し込み・問い合わせ 5月31日(木)までに企画課(内265)へ

覚えてますか道交法

ドライバーのみなさんに

Q & A

① 前より以前に、道路が狭い場所が駐車禁止。横断歩道の場合も同様です。

② 正。交差点とは十字路やT字路など二つ以上の道路が交わる部分のみならず、道路の幅が角から5メートル以内の場所も駐車禁止です。

③ 正。火検や指定の場所には駐車禁止です。

④ 正。車は他人に無断で運転することをいけません。

⑤ 正。原則として道路の左側に沿って駐車禁止です。

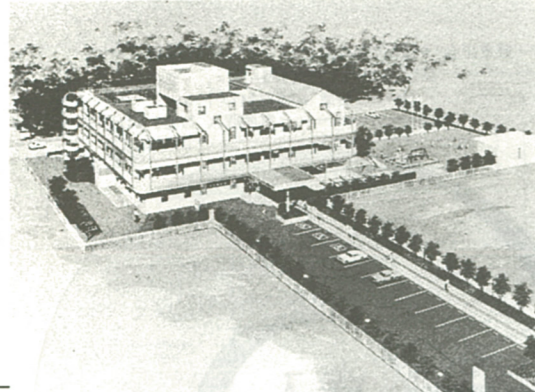
⑥ 正。道路標識、および消防用防火水槽の取水口、吸管投入口から5メートル以内の場所も駐車禁止です。

⑦ 正。原則として道路の左側に沿って駐車禁止です。

⑧ 正。車は他人に無断で運転することをいけません。

豊かな自然と活力

財政特集



今年度完成予定福祉センター

一般会計歳出予算に占める割合の最も大きいのは土木費で六十七億六千六百三十九万円、全体に比して二・四％にあたり、前年度に比べると八・八％の増となりました。これは、市道の新設改良、近隣公園用地取得、運動公園陸上競技場の建設、高齢者駅周辺市街地整備計画の策定など都市基盤の整備を積極的に推進するとともに、総合体育館や屋内プールなどの施設維持管理を行うためです。

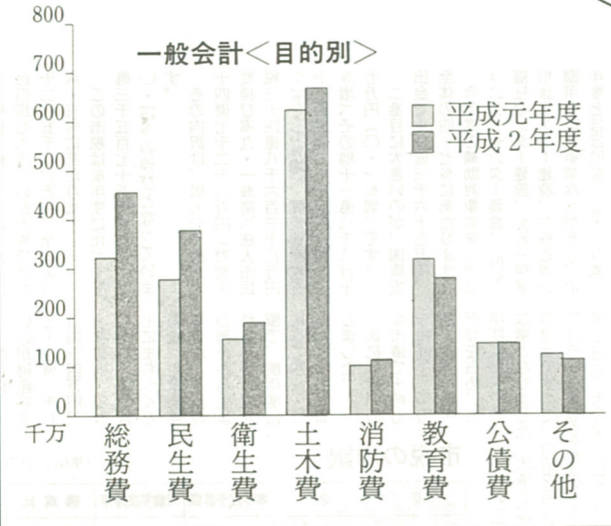
二番目に大きいのが総務費の四十六億九千四百五十五万円、全体の一九・四％を占め、前年度に比して四二・四％増と大幅に増加しました。これは、(仮称)上今泉地区コミュニティセンター建設、(仮称)文化ホール建設(まちづくり基金)などの利

子積立があるためです。三番目に大きいのが民生費の三十八億四千四百五十八万円、全体の一六・二％を占め、



積極的に都市基盤を整備

土木費が第一位に歳出



前年度に比べると三七・四％増となりました。これは、前年度

から建設を進めている(仮称)福祉センターの建設費が増えたこと、また、高齢者福祉基金の利子積立や高齢者福祉長期計画の策定など、福祉施策の充実を図るためです。

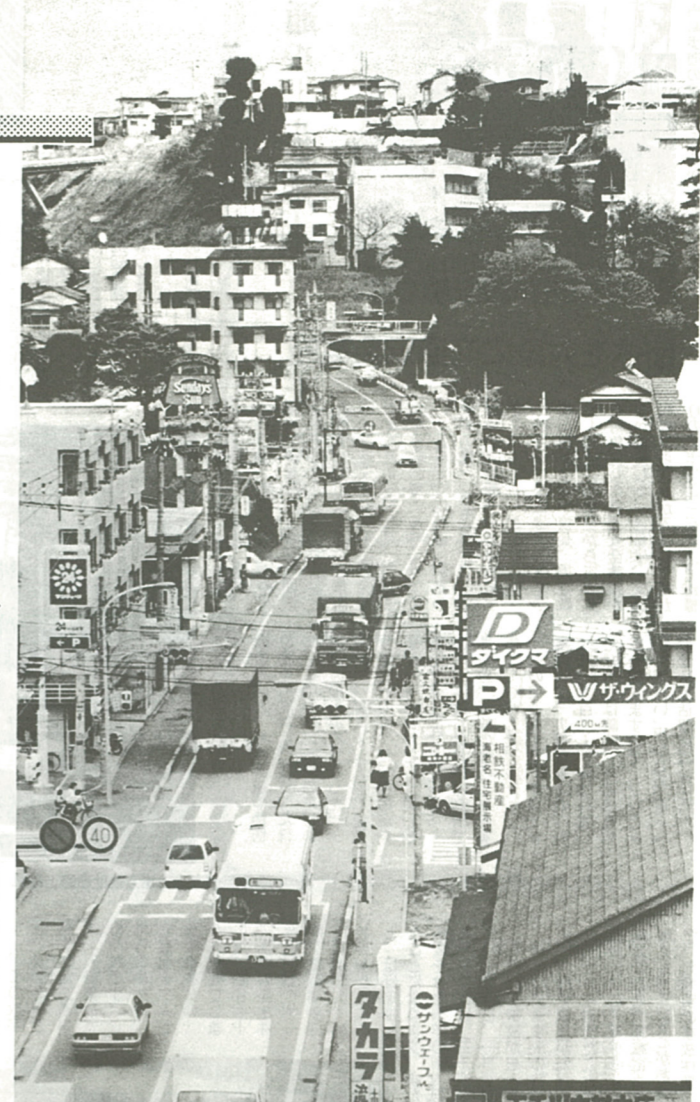
また、衛生費も前年度に比べると二・四・八％増となっており、これは本年度と来年度の二カ年で建設する(仮称)保健相談センターの建設費があるためです。

次に教育費は二十七億五千九百三十四万円、全体の一一・六％を占めていますが、前年度に比べると一三・八％減となりました。これは、総合体育館の建設が前年度で完了したためです。

全体としては、前年度に比べ三十億二千万円増加し、伸び率も一四・五％と例年にならぬ大幅な伸びとなり、第二次総合計画の達成を目指した都市基盤の整備を積極的に推進し、市民福祉の充実を図ってまいります。

- 土木費**
 - 高齢者駅周辺市街地整備計画策定事業 一億五千九百三十九万円
 - 高齢者福祉基金の利子積立 一億五千九百三十九万円
 - 福祉施策の充実 一億五千九百三十九万円
 - 総合体育館の建設 一億五千九百三十九万円
 - 保健相談センターの建設 一億五千九百三十九万円
 - 市民スポーツの基幹公園である高齢者運動公園へ、平成二三年度継続事業で陸上競技場を整備する。 一億五千九百三十九万円
 - 大谷近隣公園整備事業 一億五千九百三十九万円
 - 地域住民のコミュニティ活動の場として、また、災害時の避難場所としての近隣公園を整備するため、用地を取得し、造成工事を実施する。 一億五千九百三十九万円
 - 園分地区住居表示整備事業 一億五千九百三十九万円
 - 人口が集中し、住宅が密集した園分地区を、地区住民の意見を踏まえながら、三年計画で住居表示の整備を実施する。 一億五千九百三十九万円
 - 市道整備事業 二億九千四百〇〇万円
 - 都市下水路整備事業 五億九千五百三十三万円
- 民生費**
 - (仮称)福祉センター建設事業 一億七千七百六十六万円
 - 高齢者福祉長期計画策定事業 一億七千七百六十六万円
 - 高齢者福祉基金の利子積立 一億七千七百六十六万円
 - 福祉施策の充実 一億七千七百六十六万円
 - 総合体育館の建設 一億七千七百六十六万円
 - 保健相談センターの建設 一億七千七百六十六万円
 - 市民スポーツの基幹公園である高齢者運動公園へ、平成二三年度継続事業で陸上競技場を整備する。 一億七千七百六十六万円
 - 大谷近隣公園整備事業 一億七千七百六十六万円
 - 地域住民のコミュニティ活動の場として、また、災害時の避難場所としての近隣公園を整備するため、用地を取得し、造成工事を実施する。 一億七千七百六十六万円
 - 園分地区住居表示整備事業 一億七千七百六十六万円
 - 人口が集中し、住宅が密集した園分地区を、地区住民の意見を踏まえながら、三年計画で住居表示の整備を実施する。 一億七千七百六十六万円
 - 市道整備事業 二億九千四百〇〇万円
 - 都市下水路整備事業 五億九千五百三十三万円
- 衛生費**
 - 救急医療確保対策事業 六千七百二十万円
 - 夜間及び休日等の急患者に対するため、医療機関の協力を得た救急医療体制の確保を図る。
 - (仮称)保健相談センター建設事業 一億二千九百四十四万円
 - 母子保健、成人病予防、老人保健等地域住民と密着した総合的な対人保健サービス充実の拠点として、平成二三年度継続事業で建設する。
 - 廃棄物減量化・資源再利用促進事業 一六万円
 - 一般家庭から搬出される廃棄物を有価物と無価物とに分別収集し、廃棄物の減量化と資源化への理解と協力を求めていく。
- 商工費**
 - 中小企業事業資金融資等事業 一億三千四百六十六万円
 - 中小企業者の振興と経営の安定化を図るため、事業資金の貸付や利子補給を行う。
 - 異業種交流促進事業 五〇万円
 - 新分野(新製品等)の開拓を目指す異業種交流会の組織化を助成し、企業の活力の醸成と高付加価値型企業の育成を図る。
 - ウインタールミナシヨ事業 一〇〇〇万円
 - ふるさと再発見の機会と新たな観光として、市民の憩いと交流の場を提供するとともに、市民の憩いと交流の場を提供する。
 - 観光ビジョン策定事業 六〇〇万円
 - 観光資源の発掘と既存観光施設の計画の整備を図り、将来の観光客の観光のあり方、観光地整備の方針を策定する。
- 労働費**
 - 勤労者資金融資事業 一億八〇〇〇万円
 - 勤労者ための金融機関である労働金庫及び友愛信用組合に運用資金を預託し、市内勤労者の資金需要に応える。
- 消防費**
 - 消防力の増強と救急車の配備により、消防活動及び救急業務の迅速化を図るため、北分署の増設を行う。 六千三百八十八万円
 - 防火水槽等設置事業 六千三百八十八万円
 - 消防水利の不足する地区へ防火水槽及び消火栓を設置する。
 - 避難所予定場所非常照明設備設置事業 一七五万円
 - 非常災害時の避難所となる小中学校体育館へ自家発電照明設備を設置する。
 - 屋内消火栓検査法大会実施事業 七千三百円
 - 市内の事業所内で組織している自衛消防隊による屋内消火栓の検査法検査大会を実施する。
 - 小型動力ポンプ付水車購入事業 二七三万円
- 教育費**
 - 学校教育施設整備事業 七億九千八百八十九万円
 - 校舎、屋内体育館、プールの塗装や内部改修、上屋小の渡り廊下改修、柏ヶ谷・有馬中の増築設計、校庭の整備などを実施し、教育環境の改善及び施設の充実を図る。
 - パソコン教室等特別教室整備事業 五億八千〇〇〇万円
 - 学習指導要領の改定に向けたパソコン教室の整備や家庭学習室を整備する。 一億三〇〇〇万円
 - 学校給食センター調理室等改修事業 一億三〇〇〇万円
 - 調理室の床を改修するとともに、調理機器を更新し、食品の衛生管理と作業の安全を確保する。
 - 奨学金給付事業 二六二万円
 - 経済的理由で高等教育への進学が困難な者に対して給付する奨学金、給付額の増額と対象者の増員を図り、優秀な人材の育成を助長する。
 - 文化財記録映画制作事業 五億八千〇〇〇万円
 - 高齢者市の貴重な文化遺産である相模園分寺史跡に関する歴史の事項を、我が国の歴史に照らし合わせて紹介し、郷土に誇りを持たせたいと、歴史の記録映画を平成二三年度継続事業で制作する。
 - 図書自動車文庫更新事業 六三二万円
 - 市内各地を巡回し、多くの市民に利用されている移動図書館車両の老朽化による更新に伴い、積載冊数の多い車両にし、多様化する読者の要望に応える。
- 北分署増設事業** 七〇一七万円

ある"街"



平成2年度予算 (単位:万円)

会計名	本年度予算額	前年度予算額	伸び率
一般会計	2,379,800	2,077,800	14.5%
特別会計			
国民健康保険事業	296,557	277,010	7.1
下水道事業	247,727	254,189	△2.5
老人保健医療事業	238,702	209,783	13.8
計	3,162,786	2,818,782	12.2

平成2年度予算が、三月定例会で可決され成立しました。この予算総額は一般会計と三つの特別会計を合わせて三億六千七百八十六万四千四百五十八円と比べて二・二％の大規模な伸びとなり、特に一般会計の伸びは四・五％で積極的な予算となつていきます。

平成2年度予算編成方針については、四月一日の「平成二年度の市長施政方針」でお知らせしましたが、本年度は第二次総合計画の最終年度であり、仕上げの年でもあり「緑と太陽に恵まれたわがまちえびな」を目指して予算編成を行いました。

その目標は①都市基盤の整備 ②生活環境の向上 ③福祉の向上 ④産業の充実 ⑤教育文化の高揚の五つの柱と行政の充実を重点を置き、豊かな自然を活かし



明るく住みよい"えびな。つくります"

予算総額316億円に

調和と活力のあるまちづくりの実現に努力します。

(この財政特集は、地方自治法などの規定に基づき公表するものです)

関連記事9・10・11面に

2年度 主な事業

- 総務費**
 - (仮称)第三次総合計画策定事業 二九六〇万円
 - 第三次総合計画策定に向け、市民参加型の計画策定事業を行う。策定にあたっては、海老名市の将来像を踏まえ、市民ニーズに合った総合計画とする。
 - 市制二十周年記念市勢映画制作事業 五二五万円
 - 市制二十周年を記念し、四季を通じた海老名市の姿を記録する市勢映画を平成二三年度の二カ年継続事業で制作する。
 - (仮称)上今泉地区コミュニティセンター建設事業 五億二八二万円
 - 地域住民のコミュニティの場として、平成元一年度の二カ年継続事業で、上今泉地区に市内で四箇目のコミュニティセンターを建設する。
 - (仮称)文化ホール建設事業 二億八三五九万円
 - 児童館機能を兼ねた地域コミュニティ施設を勝勝・園分地区に建設する。
- 民生費**
 - (仮称)福祉センター建設事業 一億七千七百六十六万円
 - 在宅の身体障害者に対するデイ・サービス、わかば作業所、わかば学園などの機能を取り込んだ福祉の拠点として、平成元一年度継続事業で建設する。
 - 寝たきり老人等介護手当支給事業 五四六万円
 - 六五歳以上の在宅暮らしを支援する介護士を介抱し、高齢者が安心して生活が出来るようサポートしていくための対応策等を研究開発していく。
 - 保育所入所措置事業 二億四三〇万円
 - 共働きや母子家庭などで、保育が困難な家庭の児童を保育所に入所措置する。
- 衛生費**
 - 救急医療確保対策事業 六千七百二十万円
 - 夜間及び休日等の急患者に対するため、医療機関の協力を得た救急医療体制の確保を図る。
 - (仮称)保健相談センター建設事業 一億二千九百四十四万円
 - 母子保健、成人病予防、老人保健等地域住民と密着した総合的な対人保健サービス充実の拠点として、平成二三年度継続事業で建設する。
 - 廃棄物減量化・資源再利用促進事業 一六万円
 - 一般家庭から搬出される廃棄物を有価物と無価物とに分別収集し、廃棄物の減量化と資源化への理解と協力を求めていく。
- 商工費**
 - 中小企業事業資金融資等事業 一億三千四百六十六万円
 - 中小企業者の振興と経営の安定化を図るため、事業資金の貸付や利子補給を行う。
 - 異業種交流促進事業 五〇万円
 - 新分野(新製品等)の開拓を目指す異業種交流会の組織化を助成し、企業の活力の醸成と高付加価値型企業の育成を図る。
 - ウインタールミナシヨ事業 一〇〇〇万円
 - ふるさと再発見の機会と新たな観光として、市民の憩いと交流の場を提供するとともに、市民の憩いと交流の場を提供する。
 - 観光ビジョン策定事業 六〇〇万円
 - 観光資源の発掘と既存観光施設の計画の整備を図り、将来の観光客の観光のあり方、観光地整備の方針を策定する。
- 労働費**
 - 勤労者資金融資事業 一億八〇〇〇万円
 - 勤労者ための金融機関である労働金庫及び友愛信用組合に運用資金を預託し、市内勤労者の資金需要に応える。
- 消防費**
 - 消防力の増強と救急車の配備により、消防活動及び救急業務の迅速化を図るため、北分署の増設を行う。 六千三百八十八万円
 - 防火水槽等設置事業 六千三百八十八万円
 - 消防水利の不足する地区へ防火水槽及び消火栓を設置する。
 - 避難所予定場所非常照明設備設置事業 一七五万円
 - 非常災害時の避難所となる小中学校体育館へ自家発電照明設備を設置する。
 - 屋内消火栓検査法大会実施事業 七千三百円
 - 市内の事業所内で組織している自衛消防隊による屋内消火栓の検査法検査大会を実施する。
 - 小型動力ポンプ付水車購入事業 二七三万円
- 教育費**
 - 学校教育施設整備事業 七億九千八百八十九万円
 - 校舎、屋内体育館、プールの塗装や内部改修、上屋小の渡り廊下改修、柏ヶ谷・有馬中の増築設計、校庭の整備などを実施し、教育環境の改善及び施設の充実を図る。
 - パソコン教室等特別教室整備事業 五億八千〇〇〇万円
 - 学習指導要領の改定に向けたパソコン教室の整備や家庭学習室を整備する。 一億三〇〇〇万円
 - 学校給食センター調理室等改修事業 一億三〇〇〇万円
 - 調理室の床を改修するとともに、調理機器を更新し、食品の衛生管理と作業の安全を確保する。
 - 奨学金給付事業 二六二万円
 - 経済的理由で高等教育への進学が困難な者に対して給付する奨学金、給付額の増額と対象者の増員を図り、優秀な人材の育成を助長する。
 - 文化財記録映画制作事業 五億八千〇〇〇万円
 - 高齢者市の貴重な文化遺産である相模園分寺史跡に関する歴史の事項を、我が国の歴史に照らし合わせて紹介し、郷土に誇りを持たせたいと、歴史の記録映画を平成二三年度継続事業で制作する。
 - 図書自動車文庫更新事業 六三二万円
 - 市内各地を巡回し、多くの市民に利用されている移動図書館車両の老朽化による更新に伴い、積載冊数の多い車両にし、多様化する読者の要望に応える。

一般会計予算の執行状況

(2.2.28現在 単位:万円)

Table with columns: 款, 当初予算額A, 修正等予算額B, 予算現額A+B, 収入済額C, 執行率C/A+B. Rows include 市税, 地方譲与税, 利子割交付金, etc.

(2.2.28現在 単位:万円)

Table with columns: 款, 当初予算額A, 修正等予算額B, 予算現額A+B, 支出済額C, 執行率C/A+B. Rows include 議会費, 総務費, 民生費, etc.

特別会計予算の執行状況

(2.2.28現在 単位:万円)

Table with columns: 款, 予算現額, 収入済額, 執行率. Rows include 国民健康保険税, 国庫支出金, etc.

(2.2.28現在 単位:万円)

Table with columns: 款, 予算現額, 収入済額, 執行率. Rows include 分担金及び負担金, 使用料及び手数料, etc.

(2.2.28現在 単位:万円)

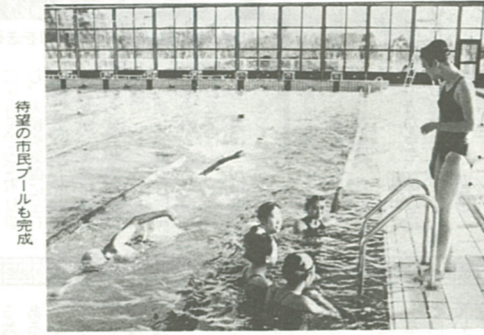
Table with columns: 款, 予算現額, 収入済額, 執行率. Rows include 支払基金交付金, 国庫支出金, etc.

市民プールが完成

平成元年度の執行状況

平成元年度予算の一般会計と三つの特別会計を合わせた当初予算額は、二百八十一億八千七百八十七万円...

一般会計の状況は、平成二年二月二十八日現在で歳入の執行状況は八五・二%となっている...



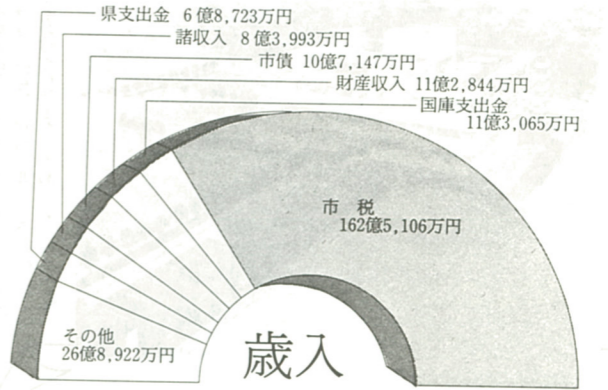
希望の市民プールも完成

土木費では、市道の整備、老人保健医療事業、老人保健医療事業、老人保健医療事業...



外国人英語講師の導入も実施

市税収入は162億円 伸びは前年度より10%増



一般会計歳入予算に占める割合の最も大きいのが市税で、全体の六八・三%にあたり、前年度に比べ一・四%の伸びとなっている...

市税の内訳

Table with columns: 区分, 本年度予算額, 対前年度伸率, 構成比. Rows include 個人市民税, 法人市民税, etc.

国民健康保険

国民健康保険事業は、加入者がいざという時の病やけがに備え、お互いに保険料を出し合って、助け合おうという相互扶助を目的に生まれた制度です。



特別会計の概要

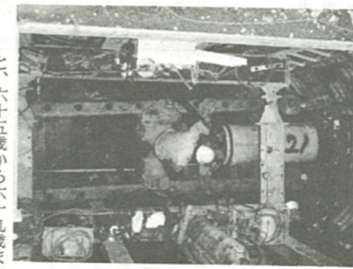
国民健康保険税と、国・県の補助金、一般会計からの繰入金などで賄われています。

下水道

下水道は、都市の健全な発展と公衆衛生の向上を図るとともに、海、河川、湖沼などの公共用水域の水質保全を目的に行われています。

老人保健医療

老人保健医療事業は、昭和五十八年に、国民の老後の健康保持と適切な医療確保を目的として創設されました。



新たな進捗公共水道

市有財産

Table with columns: 区分, 土地(㎡), 建物(㎡). Rows include 市庁舎, 消防施設, etc.

市債の現在高

Table with columns: 区分, 元.9.30現在高, 元.10.1~2.27借入額, 元.2.28未償還額. Rows include 庁舎建設債, etc.

基金の状況

Table with columns: 基金名, 現在高, 備考. Rows include 財政調整基金, 奨学金基金, etc.

市有財産などの状況

平成2年2月28日現在

フォトピックス

甘くておいしい
観光農園イチゴ摘み始まる

新鮮なイチゴが、食べ放題。の観光農園が、四月十四日から中河内の農家五軒の温室で行な



思わず舌つづみ(遊作イチゴ園)



真剣にボールを追いかける子供たち

降るあいにくの天気だったが、泥まみれになってボールを追うイレブンの姿が印象的だった。

「母の日」用を出荷
海老名のカーネーション

五月十三日の「母の日」に海老名の特産品カーネーションを、市内栽培農家十三戸は忙しうに花を送っているが、「母の日」農家は年間約三百万本を東京などに出荷しているが、「母の日」間近は赤いカーネーションに入気が集中。

奥田雅美さん(今里、47歳)宅でも、茎が細く濃い赤色が特徴の「タンガ」を中心に、一日約三千本のカーネーションを埼玉県に出荷している。

この時期は午前五時半から夕方まで摘み取り、箱詰めなどの作業に休日返上して取り組む。天候や気温に左右されやすいカーネーションだが、暖冬にもかわらず今年の作柄は順調で「楽しい母の日に海老名のカーネーションが役立てば…」と、奥田さんは話している。

5種目に執戦
少年少女スポーツ大会

スポーツを通して技を競い合い、健康と親睦を図る「少年少女スポーツ大会」が、五月二十七日まで開かれている。今年で十一回目を迎えたこの大会では、野球、サッカー、卓球、バレーボール、剣道の五種目を開催。熱戦が繰り広げられている。

大会は、四月十五日



摘み取り箱詰めと多忙な毎日を送る栽培農家

五月十三日の「母の日」に海老名の特産品カーネーションを、市内栽培農家十三戸は忙しうに花を送っているが、「母の日」農家は年間約三百万本を東京などに出荷しているが、「母の日」間近は赤いカーネーションに入気が集中。

奥田雅美さん(今里、47歳)宅でも、茎が細く濃い赤色が特徴の「タンガ」を中心に、一日約三千本のカーネーションを埼玉県に出荷している。

この時期は午前五時半から夕方まで摘み取り、箱詰めなどの作業に休日返上して取り組む。天候や気温に左右されやすいカーネーションだが、暖冬にもかわらず今年の作柄は順調で「楽しい母の日に海老名のカーネーションが役立てば…」と、奥田さんは話している。

みなさんへ
投稿はお気軽に
広報広聴課へ

犬猫を大切に

最近になって、野良犬や野良猫が増え出したように感じます。

このあいだも、中学校へ行く途中で、犬二匹、猫三匹に会いました。もちろん野良犬、野良猫です。これらの犬や猫たちは

って好きで、野良になっただけではありません。きつと飼いが捨ててしまったために、野良になってしまったんだと思います。

どの犬も猫もみんなかわいのですが、家で飼ってやめてもできないし、えさをあげてもできません。犬や猫が嫌いな人たちからは、石を投げられた



りもします。

そういえば、このあいだまで近所をうろついていた、やせた黒い犬も、いつのまにか見かけなくなっていました。きっと保健所の方が、連れていってしまったんだと思います。

「犬のフンは持ち帰りましょう。」

「う」という看板は、よく見かけますが、「犬や猫を大切にしましょう」という看板は、目しませんが、いつのまにか見かけなくなりました。

「犬のフンは持ち帰りましょう。」

海老名むかしむかし

第23話 地神講

春分、秋分に最も近い戊の日を在日と呼ぶが、「社」には「土地の神」の意味があるのて、農家は地神講という組織をつくり地神を祭る風習があった。

大正のころの話であるが、地神講の朝になると決まって「これを地神様にあげよう」といって、父は籠をきれいにすくって作ったつとこ(住)に赤飯を盛ったものを差し出し、言いながら、地神様というのには、相模横山の峰づたいに約五百坪四方へ行った山中にある地神塔をさすのである。

この地神塔は、雑木林にたた一本生えている赤松の張り出した枝の下にぽつんと建っていた。後年調べたところ、地神塔の高さは石台と一・〇六尺の五角柱で、一面の幅十二尺、正面には天照大神、ほかの各面には大日貴命、少彦名命、埴安媛命、倉稲魂命、石台には寛政九(一七七七年)「巳」大吉造塔の旨と、刻印がある。

塔の前には、自分が守けたと同じ供物がたざん置かれていた。それはすまみである。このほかに小名辻、谷戸、日久塔の者也。

明治二年八月廿二日之修復である。江戸後期のものであることは間違いない。このほか、「講中連名」として九人の氏名が書かれている。

この古い掛け軸に向かっていると、お賽銭をあげ線香を手向け、春ならば五穀豊穡を祈り、秋ならばその実りを感謝するのであった。線香は神仏混濁の名残りであり、お賽銭はその合計が御神酒一升買程度の程度で、そのほかの経費はすべて宿で負担した。

礼拝が済むと年長順に着席し御神酒をまじうたとき、その後は煙酒の酒の肴を突つきながら懇親会に移る。話題は農事は一切休むので、屋講といつて宿への集合は午前十一時、戸主が出席するのが建前だった。



地神講の掛け軸には神々の姿が...

料理は大抵決まっています。さしみ、煮魚のほかは手料理の揚げ物、煮しめなど、おつとり(納豆)となると赤飯やけんちん汁が出て宴は閉じられる。そして誰かが待ちかねたように、「さあ、一丁あるか!」と言った。以後は花札に興ずるのであった。娯楽の少ない時代だったので、地神講にかこつけて思いきり遊楽に耽っていたのである。

昭和四十三年、地神塔のあった地域が宅地造成されるようになった。地神塔は園分児童館前の伊勢山大神宮の境内に移転された。

いっぽう地神講は戦時中中断したが後復活し、以前からの慣習を踏襲してきたものの、時代の流れでほとんどが兼業農家に転じたので、昨年秋の地神講を最後に講そのものは取り止め、例の掛け軸のみを順送りに各家個々にお祭りすることになり、僅かながら命脈を保つように計られたのである。

注 つとこ...薬でくんで包みにしたものを、講つとこという。

(池田 武治)

海老名むかしむかし
電話で海老名の昔ばなしが聞けます。
5月1日～5月14日 第62話 蛇つ食い墓(仁門)
5月15日～5月28日 第63話 ぬさの由来



伊勢山大神宮境内に移転された地神塔

「海老名むかしむかし」
新たに第5集を発行!
第1～4集も有料配布中
広報広聴課へ

1～3集は500円、4・5集は600円